

令和4年度  
こころ医療福祉専門学校壱岐校  
学校自己評価結果報告書

令和5年4月1日

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン  
(平成25年) 準拠

## 1. 学校の教育目標 令和4年度

- 1 ビジョン  
地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる。
- 2 ビジョンの実現に向けたテーマ  
地域社会から必要とされる組織であり続ける。  
地域社会から必要とされる人材を提供する。
- 3 法人理念  
思いやりと創造
- 4 学校経営スローガン  
「地域のために」の精神を大切にし、心のこもった介護を施せる人材の育成を図る。
- 5 重点教育目標
  - (1) 授業内容の質の向上に努める
  - (2) 介護福祉士国家試験合格率の向上及び進路実現100%を達成する。
  - (3) 効果的な学生募集に努める。(日本人10, 留学生15)
  - (4) 留学生の安全・安心100%に努める。
  - (5) 凡事徹底に努め組織として動く。
  - (6) 社会人としての基本的習慣「時を守る」「場を清める」「礼を正す」ということを年間を通して身に付けさせる。
  - (7) 授業や普段の生活の中で日本語力を向上させる。
- 6 具体的な対策
  - (1) 研究授業の実施及び施設実習の充実を図る。
  - (2) 模擬試験、補講、自己学習の時間を十分に確保する。
  - (3) ガイダンス、オープンキャンパスの工夫とメディアを使った広報活動を行う。
  - (4) 個別面談、就職合同面談会等による就職支援の充実を図る。
  - (5) 防犯教育、災害防止教育の充実と徹底した感染予防対策を行う。
  - (6) 全学生に対する適切な指導を定期的に行う。
  - (7) 日本語を学ぶ機会をサポートする。
- 7 地域社会との関係
  - (1) 地域の公民館との連携を図る。
  - (2) ボランティア活動への積極的参加を図る。
  - (3) 壱岐市内の介護人材育成のための教育事業としての責任を果たす。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 介護福祉士国家試験合格率向上に努める。
- (2) 進路実現100%の達成する。
- (3) 授業の質の向上を図る。
- (4) 留学生の安全・安心100%の達成する。
- (5) 報告・連絡・相談体制の推進する。
- (6) ガイダンス・オープンキャンパス・地元メディアによる広報の充実させる。
- (7) コロナをはじめ感染症予防対策の徹底に努める。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1	学生便覧に明記するとともに、専門知識のみならず、身に付けた知識や技能を十分に機能させるための「介護観」「倫理観」といった心の教育を大切にしながら、地域を大切に、心のこもった介護を施せる人材育成に努めている。 【教職員アンケート 質問1 3.80】
・学校における職業教育の特色は何か。	4	3	2	1	地元の関連施設と連携を密にした実習や本校での学びによって、知力と実践力を兼ね備えた卒業後に即戦力として地域の現場で働くことのできる人材の育成に重点を置いている。 【教職員アンケート 質問2 3.00】
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	3	2	1	関連施設や学校関係者評価委員、教育課程編成委員の意見を十分に把握し、カリキュラムマネジメントを高めるとともに、社会や地域のニーズに応えられる人材の育成に努めている。 【教職員アンケート 質問3 3.40】
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	4	3	2	1	地元の介護をリードしていくための理念や目的、学生自身の将来像を、学生・保護者・学校が共有し、そのニーズに合った教育活動を展開するとともに、唯一市内で学べる専門学校としてのメリットを、幅広い層にしっかり啓蒙している。 【教職員アンケート 質問4 3.20】 【学生アンケート 質問1 3.40】 平均:3.30
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	3	2	1	関連事業に情報収集を行い、今求められている人材像を設定し、その育成のために必要な教育活動を展開できるように努力している。 【教職員アンケート 質問5 3.40】

#### ①課題

入学生も今年度で第6期生となり、保護者はじめ地域社会に本校の教育目標、役割、職業観等を多くの人に理解してもらえるようになっている。日本人学生のほとんどが市内の関連施設に就職していることも要因になっている。

#### ②今後の改善方策

学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会での丁寧な説明に加え、高校のガイダンスやオープンキャンパス、SNSや地域のメディアを使った幅広い広報活動によってさらに本校の存在や地域における役割について理解してもらえるように努力する。

#### ③特記事項

なし

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (2) 学校運営

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1				
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1	地域の医療・福祉を包括的に支援するというビジョンのもとに、グループの教育事業としての責任を十分に果たすことができるように運営方針を定めている。 【教職員アンケート 質問6 3.40】
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4	3	2	1	学校目標を達成するために、年度の振り返りをしっかり行い、地域性を配慮しながら運営方針に沿った具体的な次年度の事業計画を示している。 【教職員アンケート 質問7 3.40】
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4	3	2	1	常に関係者や職員との共有を図りながら、学校経営者としての判断を行い、組織としての実践を行っている。 【教職員アンケート 質問8 3.00】
・人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4	3	2	1	就業規則等、明確に示されている。 【教職員アンケート 質問9 2.80】
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4	3	2	1	担当部署で適切に整備されている。 【教職員アンケート 質問10 3.00】
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4	3	2	1	学校関係者や自治体等の客観的評価によって、改善・整備なされている 【教職員アンケート 質問11 3.20】
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	3	2	1	ホームページや地元メディア、等をフルに活用し情報を開示している。 【教職員アンケート 質問12 3.00】
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	3	2	1	必要に応じて随時行っている。 【教職員アンケート 質問13 2.40】

#### ①課題

SNS、地域のメディアを積極的に利用した情報の発信を行うことで地元住民からの理解が深まってきた。

#### ②今後の改善方策

情報化システムを有効に活用した少人数での業務の効率化を図る。

#### ③特記事項

なし

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (3) 教育活動

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	3	2	1	学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会や関連業界と連携し実践的な職業教育を行っている。 【教職員アンケート 質問14 3.40】
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	3	2	1	養成施設指定規則に基づき、各学年適切な時数を確保している。 【教職員アンケート 質問15 3.40】
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1	適切に編成を行っている。 【教職員アンケート 質問16 3.40】
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	3	2	1	客観的な意見を参考にしながら、実践的で効果的な工夫を行っている。コロナ禍にあっても計画通りに実習ができています。 【教職員アンケート 質問17 2.80】
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	4	3	2	1	実習先との連携を密にし、現場で求められている知識や技能の習得に努め、施設実習に繋げている。 【教職員アンケート 質問18 3.20】
・授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	3	2	1	各教科で行い、職員自身の指導の振り返り、授業改善に役立っている。 【教職員アンケート 質問19 3.00】
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4	3	2	1	教育課程編成委員会、学校評価委員会を開催し、情報交換及び客観的な評価を受け、改善に生かしている。 【教職員アンケート 質問20 3.60】
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	3	2	1	適切に実施管理を行っている。 【教職員アンケート 質問21 3.60】
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1	規程に基づき、適切に位置づけられている。 【教職員アンケート 質問22 3.40】
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	3	2	1	資質要件を満たした教員の確保ができています。 【教職員アンケート 質問23 3.00】
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	4	3	2	1	自己の実務経験を活かすとともに、新しい知識や技術を維持するため自己研鑽に努め、資質の向上に努めている。 【教職員アンケート 質問24 2.80】
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	4	3	2	1	自主的な教材研究による自己の授業力向上と、年数回の教職員研修によって指導力を高めている。 【教職員アンケート 質問25 2.80】
・職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4	3	2	1	ここ数年コロナの影響で校外での研修に参加できなかったが、年1回の対面での研修に参加するように推奨している。 【教職員アンケート 質問26 3.00】

#### ①課題

試験結果の振り返りをもとに、年間を通じて学年に応じた国家試験に向けた学生の動機付けを行っている。国家試験合格・実践的な技術を身に付けた人材の育成と、さらに授業の充実と教職員と学生の意識の向上を図りたい。

#### ②今後の改善方策

学生自身に本校への入学目的と入学後の学習プランを明確にさせ、目標達成に向けて努力できる環境づくりと、教育の質と量の向上に努める。

#### ③特記事項

なし

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (4) 学修成果

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1				
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1	市内関連施設との連携のもとに、合同就職面談会や事業所訪問等を行い、支援体制を作っている。 【教職員アンケート 質問27 3.40】 【学生アンケート 質問2 3.70】 平均3.55
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1	定期的な模擬試験の実施により、自己の振り返りや反復学習を行い、全員合格を目指して指導している。 【教職員アンケート 質問28 3.40】 【学生アンケート 質問3 3.90】 平均:3.65
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1	相談にはいつでも対応できる体制が整っている。また、定期的に学生との面談も実施している 【教職員アンケート 質問29 3.00】 【学生アンケート 質問4 3.40】 平均:3.20
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1	ほぼ把握できている。 【教職員アンケート 質問30 3.00】 【学生アンケート 質問5 2.90】 平均:2.95
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1	在校生の就労意欲を高めるために有効に情報を活用している。 【教職員アンケート 質問31 2.60】 【学生アンケート 質問6 3.60】 平均3.10

#### ①課題

国家試験に日本人学生100%の合格、一人でも多くの留学生の合格が最大の目標である。それを達成するための指導法や教材の研究、授業方法について改善を図りながら計画的に取り組む。

#### ②今後の改善方策

その年度の結果の振り返りを十分に行い、課題や改善点を明確にし、全職員によってPDCAサイクルで指導を積み重ねていく。併せて学生にも模擬テストによる自己分析を行わせ、計画的な学習に取り組ませる。留学生に対しては日本語能力の向上を目指し努力させる。2年生時になってから慌てて勉強するのではなく、1年生時から国家試験への意識を高め、計画的な学習ができるように指導する。

#### ③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(5) 学生支援

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1				
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	安心して就職できる体制が整っている。 【教職員アンケート 質問32 3.40】 【学生アンケート 質問7 3.60】 平均:3.55
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1	定期的な面談によって、学生の思いや悩みについての相談機能を果たしている。日頃から学生に目を配り指導するとともに、情報を共有している。 【教職員アンケート 質問33 2.80】 【学生アンケート 質問8 3.90】 平均:3.35
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	奨学金制度。減免制度等丁寧に説明し、経済状況に応じた学費の納入についての相談にも真摯に応じている。 【教職員アンケート 質問34 3.00】 【学生アンケート 質問9 3.50】 平均:3.25
・学生の健康管理を担う体制はあるか。	4	3	2	1	年度当初に観光診断を実施。健康安全、衛生管理についても細心の注意を払い、感染症予防対策を行っている。病院での受診等にも職員が同行している。 【教職員アンケート 質問35 3.00】 【学生アンケート 質問10 3.80】 平均:3.40
・課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	コロナ感染症防止のため行動制限が行われてために評価していない。課外活動が実施されていないが、もし地区の運動会などがあれば参加し、学校として活動を支援できるのではないかと考えている。
・学生の生活環境への支援は行われているか。	4	3	2	1	学校と学生寮が隣接しており、留学生や島外からの学生の修学を支援できる体制が整っている。買い物やアルバイトの送迎も責任を持って行っている。 【教職員アンケート 質問37 3.20】 【学生アンケート 質問12 3.50】 平均:3.35
・保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1	全職員で丁寧な対応ができる体制が整っている。 【教職員アンケート 質問38 2.80】 【学生アンケート 質問13 3.70】 平均:3.25
・卒業生への支援体制はあるか。	4	3	2	1	安心して次のステップに進むことができるように、在留カードの申請や各種手続きをサポートしている。 【教職員アンケート 質問39 2.40】 【学生アンケート 質問14 3.40】 平均:2.90
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4	3	2	1	必要に応じて随時環境整備を行っている。 【教職員アンケート 質問40 2.80】 【学生アンケート 質問15 3.40】 平均:3.10
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4	3	2	1	島内の高校と連携を密にし、ガイダンス等で竜崎市で学ぶ魅力や、介護職の必要性についても積極的に発信している。模擬授業も行っている。 【教職員アンケート 質問41 2.40】

①課題

卒業生への情報提供を電話で行っているものの、勤務の関係上、連絡がつきにくいので卒業後の確実な連絡手段を明確にしておく必要がある。保護者からの問い合わせは丁寧に対応できる体制を作っている。

②今後の改善方策

卒業後の連絡手段について、本人と卒業前に打ち合わせを行い、確実に連絡が取れる体制を整える。保護者との連絡体制を十分に整えるとともに、学生に対しても保護者との情報共有を図るよう指導を徹底する。

③特記事項

学生への経済的支援は、県・市・連携施設との相互連携により、十分な体制を構築しているし、学生にも周知している。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (6) 教育環境

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1					
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	③	2	1	施設基準は十分に満たされており、必要なスペースの確保や備品の整備もできている。 【教職員アンケート 質問42 2.40】 【学生アンケート 質問16 3.40】 平均2.90	
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	4	④	3	2	1	コロナ禍によりここ数年苦労はしたものの、関連施設のご協力によって、計画していた施設実習を行うことができています。 【教職員アンケート 質問43 3.20】 【学生アンケート 質問17 3.70】 平均: 3.45
・防災に対する体制は整備されているか。	4	④	3	2	1	市内の消防署・警察署の協力を得て、学生が安心して生活学習ができるように、避難訓練や防災教育・防犯教育を行っている。 【教職員アンケート 質問44 3.60】 【学生アンケート 質問18 3.70】 平均: 3.65

#### ①課題

消防職員の意見を参考に地震に伴う津波警報が発令された場合の避難場所を決定し、周知している。また毎年全学生を対象とした火災避難訓練を実施している。本校は寮が隣接しているので、万が一の場合、夜間の寮生の避難についても併せて指導している。(避難訓練時に消防署員による指導)

#### ②今後の改善方策

年度当初の避難訓練だけでなく、定期的に防災に関する情報提供・教育を行う。学生指導のみではなく、地域貢献の一環としても実習指導者講習会をはじめとした指導者の養成に力を入れている。地域の各施設と情報交換を密にするとともに、関連業界と連携を取り、協調して実習指導者等の人材育成を進める。設備については、学寮と共有部分があるので、学生のニーズにできるだけ応えられるように努力する。

#### ③特記事項

防災訓練(地震・津波避難訓練含む)および、年2回の消防点検を実施することにより、防災意識の昂揚に努めている。  
消火器やAEDの使用法等についても研修を行っている。



### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1				
・学生募集活動は、適正に行われているか。	4	3	2	1	広報活動の成果が表れ、次年度は多くの留学生日本人が入学予定である。 【教職員アンケート 質問45 3.60】
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3	2	1	卒業生の総数が増え、市内での就職率・資格取得率も高くなってきたために、高校生をはじめ、保護者の関心も高くなってきている。 【教職員アンケート 質問46 3.40】
・学納金は妥当なものとなっているか。	4	3	2	1	同分野の他の学校の水準と同等である。 【教職員アンケート 質問47 3.00】 【学生アンケート 質問19 3.10】 平均:3.05

#### ①課題

オープンキャンパスや市内の高等学校での進学ガイダンス、SNS、地元メディアを活用した広報活動を行っているが、高校卒業後に安易な考えだけで島外に出て行く学生に、島内にある本校で学ぶことの魅力や経済的な支援の情報をいかに伝えるかが課題である。(一旦島外に出て帰ってくる若者も多い。)

#### ②今後の改善方策

高等学校等との連携を深め、在校生の成績状況や就職先情報など学生・保護者に関心が高い情報を伝えるとともに、長期的な効果を狙った中学生進路説明会等で本校の魅力を十分に伝える。社会人の募集に関しては従来の広報活動に加え、SNSやケーブルテレビ等、地域生活に密着した媒体を継続しての活用する。留学生についても、目的意識を明確にし、いったん入学したら、卒業までしっかり頑張るんだという意識・意欲を高めさせたい。

#### ③特記事項

学校関係者評価委員会の委員の意見を尊重した広報活動に注力したい。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (8) 財務

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
・中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	③	2 1	日本の少子高齢化に伴い、入学生の確保が今後の課題である。 【教職員アンケート 質問48 2.60】
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	③	2 1	予算決算は理事会・評議員会の承認を得て、適切に管理されている。 【教職員アンケート 質問49 3.00】
・財務について会計監査が適性に行われているか。	4	③	2 1	内部監査・外務監査を行い、会計、業務共に適切に処理、運営がなされている。 【教職員アンケート 質問50 3.00】
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	③	2 1	HP等にも公開されている。 【教職員アンケート 質問51 3.00】

#### ①課題

少子高齢化の進展は離島地域において特に顕著である。このような状況の中、地元に残る高校生の大切な進路先になるよう努め、安定した授業料収入に繋げる必要がある。留学生が学生数の過半数を占める状況を鑑み、長期的なマネープランの立案および適切な校納金の納付を支援する必要がある。

#### ②今後の改善方策

留学生に対しては校納金について明確に提示し、適切なマネープランを立てられるよう、複数のモデルケースを提示する。また、すべての入学希望者に対して各種学費支援制度の情報提供を行うことで修学に対する不安を軽減し、入学者の確保につなげる。壱岐で学ぶことのメリットをしっかりと伝えていく。

#### ③特記事項

なし

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (9) 法令等の遵守

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適性な運営がなされているか。	4	③	2 1	法令に従い、学校運営に関する文書等は適切に処理、管理、保存されている。 【教職員アンケート 質問52 2.80】
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	③	2 1	セキュリティも十分であり、個人情報の管理は適切に行われている。 【教職員アンケート 質問53 3.00】
・自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	4	③	2 1	学生、職員の自己評価や学校評価をもとにした校長としての自己評価を行い、年度の検証、次年度の改善に繋げている。 【教職員アンケート 質問54 3.00】
・自己評価結果を公開しているか。	4	③	2 1	HPで公開している。 【教職員アンケート 質問55 3.00】

#### ①課題

自己評価の結果を次年度の学校運営に十分に活用し、より良い体制の構築を目指す。

#### ②今後の改善方策

自己評価の結果を教職員間で共有するとともに、各職員が改革意識をもって業務に臨む。  
また、学生に対しても学校評価アンケートのフィードバックとして改善点を周知し、学校運営への参画意識を共有する。

#### ③特記事項

なし

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1	
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4 (3) 2 1	コロナ禍にあって、十分に外部との交流の機会を設けることができなかったが、地域の清掃活動を行ったり、地域における学校の役割等について理解させている。 【教職員アンケート 質問56 3.00】
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4 (3) 2 1	地域に限定した活動は継続して行うことができている。コロナで中止になっていた行事が復活すれば、行えることも増えてくると思う。 【教職員アンケート 質問57 3.00】 【学生アンケート 質問20 3.50】 平均:3.25
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。	4 (4) 3 2 1	高等技術専門校からの委託訓練を受託して本校で2年間学ばせた。関連施設職員向けの研修会も土日に開催した。 【教職員アンケート 質問58 3.00】

#### ①課題

現在実施しているボランティア活動および地域貢献活動については今後も継続して実施する。コロナ感染症と共存していく中で新しい地域貢献のあり方や限られた時間内で地域に貢献できる方法を模索する。

#### ②今後の改善方策

学校として地域必要とされているものを常に模索し、それに即したボランティア活動を計画・実施する。また、学生の意見を取り入れる機会を増やし、自発的な活動を援助することで学生自身が主体的に地域に貢献できる環境づくりを進めていく。

#### ③特記事項

介護職とボランティア精神は連動していることを意識させる。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (11) 国際交流

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。	4	3	2 1	可能な限り多くの学生の受け入れを行っている。 【教職員アンケート 質問59 2.80】
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	4	3	2 1	担当者が丁寧な対応を行っている。 【教職員アンケート 質問60 3.60】
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。	4	3	2 1	学生の生活指導は随時行っている。またオーバーワーク等がないようにアルバイトの時間の管理も行っている。 【教職員アンケート 質問61 3.20】
・学習成果が国内外で評価される取組を取っているか。	4	3	2 1	十分に評価されるべき取り組みは行っていると思うが、評価しにくい。 【教職員アンケート 質問62 2.20】 【学生アンケート 質問21 2.80】 平均 2.50

#### ①課題

留学生の日本語能力の格差のほか、国による生活習慣や基本的考え方の違いが大きく、日本人学生と同じ授業を受けさせる困難さの克服、日本人学生・留学生双方の学習意欲の維持と向上が課題である。留学生には、日本で長く生活するためには日本語をはじめ日本文化全体を理解することの大切さを伝える。

#### ②今後の改善方策

学習意欲向上を目的として日本語力向上の更なる充実をと、専門用語の丁寧な指導を行うことで、日本語で行われる専門分野の授業に対する困難さの軽減を図る。

#### ③特記事項

なし

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和4年度

##### 令和4年度の総括

###### (1) 介護福祉士国家試験合格率(日本学生)100%の達成

昨年度の反省をもとに、国家試験対策・模擬試験を計画的に実施し、資格取得に対する意識付けを行った。早い段階から目的意識をもって自発的に学習に取り組んだ学生は模擬試験の結果が着実に向上し、国家試験自己採点結果も良好であった。今年度は日本人学生5名全員が合格。  
留学生の国家試験合格は困難なものがあるが、専門用語に関する補充授業を重点的に実施し、合格者を輩出できるよう次年度に向けて取り組みたい。また、実践的な技術の獲得を支援している。

###### (2) 進路実現100%の達成

学生に対しては希望する条件の聞き取りを行ったうえで、応募先の選定・先方との連絡調整を援助することで、円滑に就職活動ができるよう支援した。  
また、市内就職を希望する学生を対象に就職合同面談会を開催し、様々な施設について理解した上で進路を実現できる体制を構築した。全員が希望する進路を実現することができたことで、香崎市における本校の貢献も高まった。

###### (3) 授業の質と量の向上を図る

先輩教員の指導・助言により全教員の授業力を向上させることを目指して研鑽した。  
また、各教科の情報共有を綿密に行い、効果的な国家試験対策について研究を重ねている。模擬試験による自己分析や担任・学科長を中心に複数回個人面談を実施した。その結果、各学生の要望や課題、学修状況を把握し、適切な働きかけを行うことができ、授業の理解度や国家試験合格への意欲を高めることができた。

###### (4) 留学生の安全・安心100%の達成

在留資格の適切な管理を行うとともに、担任・留学生担当職員を中心として各種の相談に対応し、安心して生活できる環境づくりを行っている。日本の税制度・年金制度に関する指導を徹底し、法令順守の意識を高めたり、病院受診や各種手続きの際に職員が同伴して指導し、卒業後も社会生活を円滑に営めるよう支援している。  
また、健康増進に関する指導を担当を中心に実践した。

###### (5) 報告・連絡・相談体制の推進

職員朝会・職員会議を中心に教職員間の情報を共有し、意思統一を図った上で学校運営に取り組んでいる。また、学生からの相談内容等については担任を中心に細心の注意を払って取り扱い、個人情報の保護に努めている。

###### (6) ガイダンス・オープンキャンパス・広報の充実

高校での進学ガイダンスに積極的に教職員を派遣し、正確な情報の伝達と広報活動に力を入れている。オープンキャンパスにおいては、入学希望者が本校の学生の意見を直接聞く機会を設け、入学に対する不安の解消に努めている。今年度はSNSやケーブルテレビを活用した広報を行いその成果も現れている。

## 1. 学校の教育目標 令和5年度

- 1 ビジョン  
地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる
- 2 ビジョンの実現に向けたテーマ  
地域社会から必要とされる組織であり続ける  
地域社会から必要とされる人材を提供する
- 3 法人理念  
思いやりと創造
- 4 学校経営スローガン  
「地域のために」の精神を大切にし、心のこもった介護を施せる人材を育成する。  
地域の関連施設との連携を密にした充実した実習を実施する。
- 5 重点教育目標
  - (1)教員の研鑽に基づいた授業内容の充実に努める
  - (2)①介護福祉士国家試験合格率及び就職率100%(日本人学生)を達成する。  
②留学生についても国家試験合格圏内到達を目標に指導を行う。
  - (3)効率的な学生募集に努める。(日本学生10、留学生15)
  - (4)留学生の安全安心100%担保できるように努める。
  - (5)凡事徹底に努め、組織として動く。
  - (6)コロナや他の感染症予防対策の徹底を図る。
- 6 具体的な対策
  - (1)教職員の授業力を高めるとともに、実習施設との連携強化を図る。
  - (2)効果的な模擬試験、補講を実施し、自己学習時間の確保と、有効な活用を図る。
  - (3)担任、学科長による進路具現化に向けた個別面談を定期的実施する。
  - (4)関連施設と連携した就職面談会、施設訪問を実施する。
  - (5)ガイダンス、オープンキャンパスなどの広報内容の充実と、地元メディアを有効に活用した広報活動を実施する。また中学校の進路説明会に参加する。
  - (6)留学生担当、担任による生活面全般における定期的な面談を実施する。
  - (7)職員間の報告、連絡、相談体制を強化する。
  - (8)学校全体でコロナをはじめ全感染症の予防対策を徹底する。
  - (9)寮の決まりを遵守させ、規則正しい生活を送らせる。
- 7 地域社会との関係
  - (1)地域の公民館との連携した活動を行う。
  - (2)ボランティア活動(他団体との連携)への積極的参加を図る。
  - (3)市内の介護をリードする人材を育成するという教育事業としての責任を果たす。

## 2. 令和5年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 授業内容の質の向上に努める  
一番の目標は学んでいる学生たちにとって、わかりやすく丁寧な授業を行うことである。そのためには、自己研鑽に努め、教師自らの授業力を高めることが大切である。授業力を向上させることによって、学生の介護福祉士国家試験合格に繋げる。
- (2) 介護福祉士国家試験合格率向上および進路実現100%の達成
  - ①入学試験および入学時オリエンテーションにおいて国家試験の位置づけなど合格に向けた明確な意識付けを行う。
  - ②充実した授業をもとに、模擬試験10回、補講および放課後の自己学習30回程度の量の確保を行う。
  - ③本校独自の就職合同面談会を実施する。(7～9施設の参加を目指す)  
また、学生自らの施設訪問の機会を設ける。
  - ④担任・学科長との進路に関する面談を十分に行う。
- (3) 効率的な学生募集に努める(日本学生10、留学生15)
  - ①高校のガイダンスについては積極的に職員を派遣し、広報に努める。  
地元から出て行く前に、地元で学ぶことの魅力についてわかりやすく丁寧な説明を行う。
  - ②オープンキャンパスの参加対象を広げる。
  - ③地元のメディアやSNS等を使って幅広くアピールを行う。
- (4) 留学生の安全安心100%に努める
  - ①担任を中心とした面談を適宜実施するとともに、日常生活、悩み、疾病対応等に関する相談窓口の周知を図る。
  - ②地元の警察署や消防署と連携し、充実した防犯教育や防災教育を行う。
- (5) 凡事徹底に努め、組織として動く
  - ①全体、学生に関わること、まずは報告する体制を徹底する。
  - ②問題を一人で抱え込まず相談できる意識付けを行う。
  - ③業務全般に関し、凡事徹底を意識付ける。
- (6) 地域社会の一員としての役割を果たす。
  - ①地域行事への積極的に参加する。
  - ②地域清掃活動や吉岐市のボランティア活動に積極的に取り組む。
  - ③心のこもった介護を施せる人材を育成し、施設に送り出す。